

No. 16 五月号

発行所 東京都中央区築地3-1
(本願寺内) 全日本仏教会
電話(54)0313番
発行人 岩野真雄
編集人 柳丁 堅
印刷所 栄昌堂印刷工業株式会社
購読料 一部12円 1ヶ年分 150円(送共)

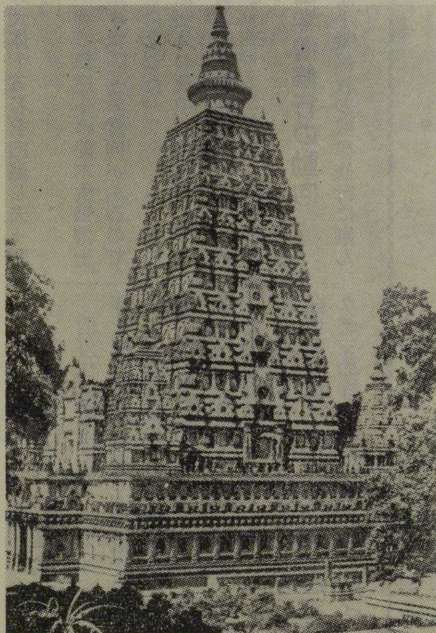
全佛通信

深緑の比叡山に

集り六百の代表

。。。。第四回大会準備進む。。。。

才四回全日本仏教徒会議が前大会において比叡山で開催と決定されて以来、天台宗、比叡山当局では、着々その準備を進め、去る三月の宗会でも大英断を以て予算措置を講じ、今や全く受人態勢が整えられた。この間全仏事務総局、関西事務局、でも屢々天台宗、比叡山当局と打合せを重ね、別項の通り大会要項を決定した。全仏では前三回の大会の経験を反省しつゝ、近く議案審査委員会、議事運営委員会を開議して、最終的に大会議案を整理し大会運営方針の細目を決定することになったが、参加希望の各位が要項に従って速やかに議案を提出されることを当局では希望している。



【写真】インドネーランジャラー河のほとりにそびえ立つブダガヤの大塔。

参加費 金三百五十円(申込と同時に送金のこと)
参加申込 来る五月十五日(必着)迄に本会へ申込されたい。但、定員に達し次第締め切ります故早く。
滞在費その他

第四回全日本仏教徒会議 比叡山大会 要項

期日 五月二十五、六、七日の二泊三日間
会場 比叡山 延暦寺
日程 (才一日) 集合正午迄、開会式、総会
(才二日) 部会、特別集会
(才三日) 部会、総会、閉会式、見学

参加資格及人数
本会加盟の各宗派、都道府県仏教会、各団体の推薦者約三百五十名、外。

一、議 題

1 全一仏教精神をより興起し且その運動を一層盛んにするための諸方策に関する問題。(説明)全一仏教運動は時代の要請にも拘らず、未だ徹底せず積極性を欠く面が多い。之に対する反省と今後の全一仏教運動の活潑化のため種々な考え方、方策等につき問題の提出を希望する。

2 仏教実践活動展開に関する諸問題。

(説明) 仏教が現代大衆の間に必要なる教えたるの立場から、大衆が現実に深刻な悩みとしている種々なる問題(例へば社会不安、平和に対する不安等々)に対決してなければならぬ。こうした見地から今の仏教徒は、何を実践すべきか、その運動展開の方法に関する諸問題に就て提案を希望する。

3 日本仏教の海外進出について、特に東南アジア仏教諸国との交流、並に欧米諸国への仏教の普及についての諸問題について(説明)従来の日本仏教が果して正しい意味で進出しているだろうか? アジア諸仏教国との交流にも反省の要なきや。今年が才四回世界仏教徒会議もあるので、才三回の反省の上に新たな決意を表明する諸問題の提案を希望する。

一、議案提出について

右議題に関して議案提出希望の方は左記により至急事務局宛議案を送附せられたし。

1 議題

2 提案者、又は提案団体名及説明者名

3 提案理由(簡潔に)

4 右提案実践方策等

提出議案は中央議案審査委員会の承認を経たる後、正式議案と認めるものとする。その採否は一任されたい。

宿 泊 延暦寺宿坊に分宿の事。受付と同時に宿舎の配当をお示し致します。

一、道 順

◎ 東海道線 大津駅又は膳所駅下車
京阪線 石山坂電鉄で終点坂本駅下車、ケーブルで上山(根本中堂まで徒歩約十分) 京都下車、八瀬よりケーブルで上山徒歩約三十分

主催 全日本仏教会

後援 文部省・外務省

第四回世界佛教徒會議

十一月六日よりネパール王国で

四十三ヶ國より代表參加

三月八日セイロンの世界仏教徒連盟本部においてインド・タイ・セイロン・ビルマ・ネパール・日本・シンガポール等各国代表が参集し才四回世界佛教徒會議の日程、議題等を協議した結果次の通り決定した。

会期は今年十一月六日より四日間本會議七日より一週間地方大会ネパール王国カトマンズ市において開催する。

正式代表は約百名オブザーバー百名と決めた。

議題は仏教の現実問題にしほり次の三項目を中心議題とすることをきめた。

ネパール国ではいま準備のため施設や道路の修理に全国民が一生懸命で四十三ヶ國からの代表の受入に大童になつてゐる由である。

わが日本では全仏が中心となつて近く代表の選定に具体的に入ることになつてゐる。

インドの仏教ユネスコ世界會議に

日本から十五名の代表派遣

インド政府では仏紀二千五百年記念行事の一つとして仏教主義によるユネスコシンポジウムを本年十一月十六日から三週間世界各國の仏教学者高僧を招いてニューデリーにおいて開くことになり各國へ招請状が出されてゐるが、わが日本へは外務省を通じて十五名の招請状が届いたので全仏では過般の常務理事會にはかり代表選定のため詮證委員會を設けることになり、去る四月十七日午後一時から才一回の委員會を開いた、当日は佐々木泰翁

重永潜、栗本俊道、山本杉、伊藤述史(代小谷徳水)及び北島事務総長、岩野、中山、小笠原の各局長が出席し宗派、団体、学界、数議員及び本部員等大体十五名を内選し夫々關係方面へ通達した。

なほ現在アメリカで伝道中の鈴木大拙博士をインドでは是非招きたいとの意向があるので交渉を進めることになつた。

旅費は派遣宗派団体の負担で滞在費はインド政府負担で国賓として待遇し各仏隨も案内することになつてゐる。

ビルマ留学僧修行の動向

渡緬以来厳格な小乗仏教の戒律修行に励ん

で来た全仏派遣ビルマ留學僧十一名は、今回像へ多数の仏教徒がローソクをともしている姿や名士の講演に群がる仏教徒の写真など興味あるものが提供されたが、紙面の都合で掲載出来ないのは残念である。

パキスタンで盛大な仏紀式典

南方仏教諸國に於ては本年の仏紀二千五百年を記念して挙國の大式典を挙行する事になつてをり、既に各國に於ては諸準備に万全を期してゐるが、今般パキスタン大使館の御厚意により、去る二月廿六日より各國に先立つて行われた東パキスタンのチタゴン近郊のラウザンに於ける仏紀式典の模様の写真が全仏國際局へ提供された。此の写真の外、ラウザンの寺院に横たわる十六フィートの釈迦

マララセケーラ博士來日

英文辞典編纂重要打合せ

世界仏教徒連盟総裁のマララセケーラ博士はセイロンを代表しアメリカにおけるユネスコ會議に出席する途次三泊の予定をもつて去る四月十四日來日した。翌十五日午後二時より東洋大学貴賓室に於て開かれた英文仏教百科大辭典日本編纂所の常任委員會に出席し、さらに翌十六日は午前十一時東洋大学入学式に臨席し学生父兄約三千名に仏教講演をなし



(パキスタン大使館の提供)

ラングーンにて第六結集 完結記念式典

ビルマ國ラングーン市にて五月廿二日より六月七日迄の間、チャッタサンガヤトナに於ける才六結集の完結成功を祝つて盛大に式典が開かれる事になつたが、今回全仏佐々木理事長宛にウ・チャントン師より招請が有つた全仏では代表の人選を進めてゐる。

百年記念祭までに帰國する。

マ博士清瀨文相と会見

マ博士は全仏中山國際局長柳同部長の案内で文部省に清瀨文部大臣を訪問、世紀の大事業として内外の大きな期待をあつめてゐる英文仏教百科大辭典編纂に対しマ博士は文部省の協力に対し感謝のあいさつをした。清瀨文部大臣は「この事業は日本の文化事業として非常に意義がありぜひ成功して頂きたい」と思つておられます。十分な協力も出来ませんことを遺憾に思つております」といって近藤宗務課長、中西研究助成課長に夫々あいさつをなし、外務省に門脇次官を訪問して同様のあいさつをした。

[写真] 東パキスタンのチタゴン五割東ラウザンに於ける仏紀式典の多外祭に於て演説するゲイン領事ウデン

佛都の夜空に聖火

ウエサーカ大祝典

五月二十四日 京都圓山公園で盛大に

全仏主催の南方仏紀二千五百年協賛ウエサーカ(世界仏陀の日)大祝典は京都市円山公園音楽堂において(雨天の場合は華頂会館)廿四日午後七時から盛大に開催される事になった。

先づ才一部は仏教大学中高校生二百五十余名の仏教讃歌の合唱による音楽式典で B K オークストラの伴奏による音楽祭典がなされる。

なほ四月八日の花まつりに際し樂地本願寺合唱団がNHKから放送された長田恒雄作詩伊藤完夫氏作曲による仏紀二千五百年記念の大作「仏陀」も合唱されることになっている。才二部はインド駐日大使B R セン氏の大講演がなされ才三部は東京よりこの祝典に奉仕のため出張公演をされる榊原帰逸先生門下のインド仏教舞踊が約四十分間公演されることになっている。

当日はインド大使のメッセーヂをはじめ、文部大臣、外務大臣、京都府知事京都市長等の祝辞が予定されているが、これが準備のため関西事務局を中心に京都の各団体が仏都京都にふさわしい立派な祝典にしようと努力している。この日の盛儀が今から予想されている。

因みにウエサーカ祭とは仏陀の誕生、成道涅槃を祝福する大きな祭りであり、南方仏教諸国ではこれが祭りを国を挙げて行っている。とりわけ本年は仏紀二千五百年に当るので、かつてない盛況が予想される。

重要問題を中心に

時局対策委員会ひらく

全仏では昨年の身延山大会の決議に基き、いち早く時局対策委員会を設け、各界から十六名の委員を依頼し、毎月二回又は三回開催しているが、特に当面の問題として宗教法人法、新興宗教問題を中心に進めている。

去る四月廿四日は午後三時より全体委員会を開いて具体案を審議した。

当日は小野清一郎、伊藤述史、松本徳明、浜田本悠、増永雪鳳、三原信一、山田靈林、山本洋一、摩尼清之の各委員と、北島総長岩野局長、小野塚、別所、柳の各部長が出席した。

なほ委員長は椎尾辨匡副会長が自らあたり当面する仏教の対外的問題、特に比叡山大会に備えて、種々の案件を処理する事になり、今後の成果が大いに期待されている。

大谷全佛會長夫妻

いよいよ五月十八日日本を出発

セイロン政府からの招請で全仏会長大谷光照殿下及び智子裏方は長尾雅人氏(京大教授英文仏教辞典編纂委員長)を随へ、いよいよ五月十八日羽田空港を出発セイロンへ向はれる。

なほ一行は二十三、四両日盛大に行はれる同国の仏紀二千五百年記念式典に日本仏教界を代表して臨席されるほか政府はじめ

日本全土に展開された —花まつり大繪卷— 東京中央大会空前の盛況

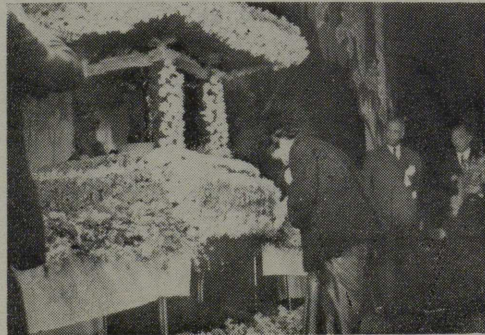
先づ東京では全仏をはじめ東京仏教団、仏教保育連盟、主義学校連盟、仏教学生連盟、婦、仏青等広範な層を結集して準備が進められてきた。一南方仏紀二千五百年記念国際親善花まつり大会」は去る四月八日東京比々谷公会堂で開催された、当日は折悪しく雨と時季外れの寒さにも拘らず、会場は正面の花御堂を中心に豪華な生※指揮により千代田、立正、宝仙、鶴見の各女学生、明德幼稚園々児等三百名の大合唱による「仏教讃歌組曲」が演奏され満場の拍手をうけた。更に榊原仏教舞踊団によるインド舞踊宮城道雄社中、黛節子社中により夫々舞踊

先づ東京では全仏をはじめ東京仏教団、仏教保育連盟、主義学校連盟、仏教学生連盟、婦、仏青等広範な層を結集して準備が進められてきた。一南方仏紀二千五百年記念国際親善花まつり大会」は去る四月八日東京比々谷公会堂で開催された、当日は折悪しく雨と時季外れの寒さにも拘らず、会場は正面の花御堂を中心に豪華な生※指揮により千代田、立正、宝仙、鶴見の各女学生、明德幼稚園々児等三百名の大合唱による「仏教讃歌組曲」が演奏され満場の拍手をうけた。更に榊原仏教舞踊団によるインド舞踊宮城道雄社中、黛節子社中により夫々舞踊

二千名の仏教徒が参加し、来賓としてインド大使夫妻、ヴェトナム大使夫妻をはじめ中国、タイ、セイロン各大使代理を迎えて式典が挙行された。式後奉祝会にうつり清水脩編曲

各地でも盛大に舉行

東京仏教団でも各区各町ごとに一週間多彩に花まつり繪巻をくりひろげた、京都、大阪名古屋、神戸、横浜等の大都市をはじめ全国津々浦々にいたるまで盛大に行なはれたほか全国寺院一斉に八日正午を期して平和の鐘が打ち鳴らされた。



【写真】 日比谷大会々場の誕生仏に合掌するインド大使夫人。立つ人はインド大使

組織部より

別掲の通り妙心寺派加盟により全宗門の加盟はほぼ完了しました。地方果仏では最近岡山果仏の加盟がありました。組織未加盟の向が未だありますので主要都市伝道や今秋のネパール大会参加のこともありますので、この際至急加盟の手続を願います。

全國主要都市傳道の第一聲

セイロン大使 富山・長野両市で仏教講演

全仏では予て仏紀二千五百年記念として全國五百都市伝道を計画し、全国各市仏教会に連絡してその具体化を進めて来たが、五月八日富山県入善町仏教会の花まつりに出席し、さらに富山市において県仏主催のもとにセイロン大使による講演会が、また同九日には善光寺に参拝、ついで長野市において県仏主催の講演会が同大使を講師として、それら開催されることになった。

また来る五月二十四日京都市円山公園におけるウエサーカ祭の折にも、特にインド大使を招いて講演会が開かれることになっている。更に来る七月中には北海道全域の各地で講演会が開かれることになっており、目下地元でその準備が進められているが、各県仏や各市仏教会においても二千五百年記念として講演会、講習会等を開催されるよう全仏当局では要望している。

本部より講師を派遣する

なお各地の講演会講習会等を開催される場合の講師斡旋その他の便宜供与については、全仏事務局宛御照会ありたい。交通費全仏負担、謝儀宿泊等は主催者負担となっている。

各宗門と寺院の

青少年旅行活動への協力を

ワンダーフオーゲル、渡り鳥の名で行われた青少年旅行は、今度「縁のこだま」の名で推進されます。全宗門協賛の元に全日本仏教会は、文部省(各府県教育委或は体育課協力)や毎日新聞社と協力してその推進を計つていきます。

各宗門で景勝地、山岳、海浜に一ヶ所青少年の家を作つて下さい。五人十人のグループ

でくる青少年旅行者に一泊の宿をしてやる。果でも便宜を計ります。宿泊食費は実費として食事二食付二百円前後、宿泊だけ七、八十円程度徴収出来ます。コースを作り何ヶ所かを求めに広げられるようにする事も特に望まれています。尚くわしい事は全仏へ御問合せ下さい。

椎尾副会長らインドへ

記念放送

仏紀二千五百年の本年五月廿四日のウエサーカ祭(世界仏陀の日)の当日、全仏副会長 椎尾辨臣、長井真琴、駒沢大教授増永靈鳳の三師はN・H・Kよりインドへ向けて記念放送をする事になった。

仏教議員連盟準備委員会

仏教関係の両院議員を以つて議員連盟を結成しようとして二回の準備委員会は四月五日午後一時から国会内の参議院食堂において大谷 贊雄、赤松常子、海野三朗、山下義信等の各氏が会合し仏教議員連盟結成への準備及び全仏提案の諸案について具体的に協議した。近く具体案を中心に才三回委員会を開くことになった。

S・&ストライプス紙上に

仏陀の誕生日

米国の有名な機関紙スターズアンドストライプス紙は、今回本年の南方仏紀二千五百年を記念して、特に「仏陀の誕生日」と題して紙面一頁に亘つて大々的に仏陀の生涯等を載

せた。尚日本各地の有名寺院に於ける「花まつり」についても可成り詳しく報じている。

全国宗教々誨師連盟の結成

戦後種々なる困難があつたにかゝらず、黙々として矯正施設の収容者に対し、宗教々誨を実施し多大の実績をあげて居られる全国約一、三〇〇名にのぼる教誨師の方々の総意により、来る五月十七日東京才一生命ホールに於てその全国的な結成をみるに至つた。引続き五月十八日、十九日両日は全国教誨師大会を開催し、斯道の振興発展のために種々研究討議が行はれることになった。

此の計画に対し、日本宗教連盟傘下の各宗教団体は全面的に協力後援をなし、その成功を期して居る。

尙現在着々として準備中の「全国宗教々誨後援会」についても、日本宗教連盟がその結成のため、各方面に呼びかけ近く準備会を開催すべく各宗教団体は勿論、広く各界にその協力方を懇請し、宗教々誨のより強力に実践されるよう計画を進めて居る。

妙心寺派と岡山縣仏全仏へ加盟

臨濟宗妙心寺派では去る二月の宗会において全仏加盟を決定四月二十日全仏本部へ正式加盟の手續を完了し、また岡山県仏も加盟申込をおわつた。近く常務理事会で承認されるが臨黃各派も近く加盟することになる模様である

評議員会と

全国宗務總長会議の開催

南方仏紀二千五百年協賛の意義ある新年度を迎え、来る五月二日、京都東本願寺に於て評議員会並に全国各宗々務總長会議を開催し新年度予算、昭和廿九年度決算等をはじめと、本年度の諸行事計画、本会の運営等に関

し、種々報告並に協議をすることになつて居る。因に本会よりは佐々木理事長、北畠事務総長、各局部長出席の予定である。

マニ・D・G・アルタマ

女史来日

タイ国バンコック市国立師範学校副校長のマニ・D・G・アルタマ女史の来日は去月号紙上で既報の通り随員二名を同行し四月廿六日空路羽田に到着、全仏、仏婦等に盛んに迎えられた。一行は各宗本山、各仏教系大学等を訪れ参拝旁々講演を行つたが、日本のマハーヤーナ仏教研究と仏教教科書編纂が其の目的である。尙同女史らは六月上旬に台湾へ向う予定である。

銀座三笠会館で花まつり

銀座三笠会館で四月十日午後一時からルンビニ火曜会、仏教同志クラブ及仏教タイムス社共催の花まつりが行われた。ついで懇談会に移つたが、インド大使館からシャルマー等秘書官等が、又椎尾老師以下多数名士が出席盛会であつた。

南北仏教交流の為

ビルマ高僧来日

ビルマ仏教会の長老、ウ・ニヤヌツタラ・ウ・テイテイラの両師が、テラヴァアームダ教(部派仏教)の研究所を日本に設ける為の協議を成す為、四月十六日夜七時半空路羽田に到着した。空港へは仏青、仏婦など多数が、盛大に出迎えたが、全仏から中山、小笠原両局長、柳部長等が出迎えた。一行は全国各地で仏教講演を行ひ、同研究所の設立の重要な事を強調しているが、約一ヶ月間滞日して五月中旬帰国の予定である。全仏としても意義深いこの計画に協賛の立場をとつて居る。